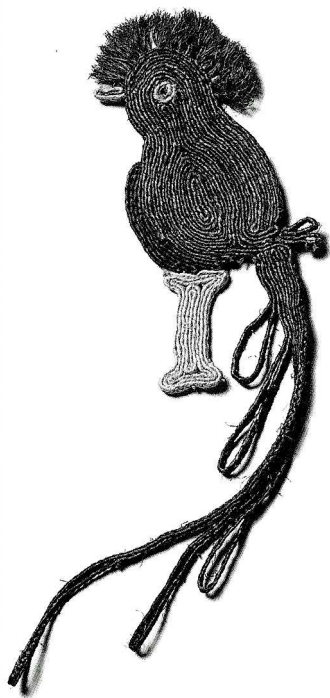


ケツアル鳥

編物製品(標本番号H192647(表紙左はH192646)、高さ/60.0cm)

八杉 佳穂 (やすぎ よしほ)

本館民族文化研究部



ケツアル鳥は、グアテマラでは、国旗や紙幣に描かれていることからわかるように、国を代表する鳥である。通貨の単位もケツアルであるし、そのほか、シャツの絵柄や土産物など、いろいろなものに取りあげられており、知らない人はいない。ところが、これほど有名な鳥なのに、実際にケツアル鳥を見た人はほとんどいない。絶滅に近いために、高地の

又は短い尾しかもたないが、オスは一メートルにもなる緑に輝く美しい尾をもっている。そのため、マヤ文明時代(三〇〇〇年頃)からたいへん好まれた鳥であり、王族の羽根飾りとしてばかりか、鳥の姿そのものも描かれた。また、ケツアルはマヤ文字に取り入れられ、何人かの王や王女の名前に使われた。ちなみに、ケツアルとはアステカのナワトル語であ

湿潤な山のなか
に生息するケツ
アル鳥に出会え
る人は数少ない
のである。

ケツアル鳥は、
多くの鳥と同じ
ように、オスの方
が華麗である。メ

り、マヤではクックという。

グアテマラは、一六世紀にペドロ・テ・アル
バラードによって征服されたが、征服のとき
の戦いにもケツアルは登場する。ケツアル鳥
の美しい緑の羽で着飾ったキチエの大將テ
クム・ウマムは、アルバラードに何度も戦い
を挑むが、敗死する。ケツアル鳥の胸が赤い
のは、その血に染まったからだという。

さて表紙の資料は、一目でケツアル鳥とわ
かるほど、見栄えのよいオスの特徴をうまく
表現しているが、グアテマラ東部のホコタン
では、こうしたリュウゼツランの繊維をつか
った民芸品が数多く作られている。

ケツアル鳥は檻で飼うと死んでしまうそ
うだ。だから自由の象徴となつている。そう
すると、ペットとは不自由の象徴といつてい
いのもかもしれない。